



TRICK

ニュース

2014/09 第8号

TRICK 2014 夏の御挨拶



TRICK 代表世話人

森澤 雄 司

自治医科大学附属病院・感染制御部長、准教授
感染症科(兼任)科長、総合診療内科(兼任)副科長

今年も猛暑、ゲリラ豪雨と激しい天候の夏になりそうです。

少し間が空いてしまいましたが、久しぶりに TRIC 'K' ニュースをお送りします。私たち、TRIC 'K' (栃木地域感染制御コンソーシアム)の活動は、ボランティアで集まっていた、主に急性期ケア病院の医療従事者から成り立っていますが、この1年間ぐらい高齢者長期療養施設を対象とした情報交換会や実技講習会などにも力を入れています。介護老人保健施設や特別養護老人ホームにとってインフルエンザやノロウイルスへの備え、感染防止対策は極めて重要であります。残念ながら情報提供が不十分な憾みもあり、科学的な根拠が不十分でコスト効率も悪い対策が実践されている事象が散見されます。手指衛生が最も重要であるということはいくら強調しても足りないくらいですが、現場にそのような基本的事項が十分に浸透せず、怪しげな環境整備用品が頻用されているのは残念な限りです。また、一方、多剤耐性菌保菌例に関する対応では、感染防止リスク・アセスメントの観点からすれば、急性期ケア病院と長期療養施設では自ずと対応が異なり、侵襲的医療行為が多く行われている病院では必要によって接触感染予防策や個室隔離が適用されますが、医療関連感染症のリスクが低い施設にあっては手指衛生・標準予防策の徹底により十分に対応できるはず。より効率よく機能する医療圏であるために、病院と施設の意識と知識の共有化はとても大切です。私たち、TRIC 'K' はその橋渡しの御役に立ちたいと考えています。

また、一般県民への情報提供も重要であり、この夏は栃木地域でも腸管出血性大腸菌 O157 感染症やアデノウイルスによる咽頭結膜熱(いわゆるプール熱)が多く市中でも流行しましたが、手指衛生や食品衛生など、折りをみて機会を作りたいと考えています。新型インフルエンザ対策や新興感染症対策には、医療施設の努力だけではなく、一般住民の受診行動も大事なポイントとなります。平時からチャンネ

ルを作っておくことが必要であり、TRIC 'K' にとって今後の重要課題となっています。

急性期ケア病院の間でも相互ラウンドや改善支援だけではなく、より具体的な血液体液曝露時における曝露後予防のための抗レトロウイルス薬の管理体制を設立しようとしています。これからも現場に役立つ TRIC 'K' であり続けたいと願っています。

さあ、皆さん、健康のために手を洗いましょう！



第6回とちぎ感染担当者情報交換会報告 (2014/01/18)

「小児領域での感染対策」について

感染管理認定看護師 香取 三奈

2014年1月18日に獨協医科大学病院において、第6回とちぎ感染担当者情報交換会が開催されました。今回の情報交換会は、小児領域(有床)の施設から10施設30名(看護師29名助産師1名)の参加者が集まりました。

まず、とちぎメディカルセンター下都賀総合病院の杉田憲一先生(小児科)による「小児に対するフィジカルアセスメント」をテーマに、呼吸器感染症(RSウイルス、マイコプラズマ、インフルエンザ)を病原性の強弱、免疫原性および変異・耐性化から理解し、高サイトカイン血症の存在について症例の解説を加えながら講演いただきました。

次に、6グループ編成でグループ討議を行いました。小児科病棟勤務という共通点から参加者はすぐに打ち解けた様子で、活発な意見交換がされていました。

最後に TRICK 代表世話人である、自治医科大学附属病院森澤雄司先生から「流行性ウイルス疾患について予防できること」として、標準予防策について具体例を提示しながらお話いただきました。



アンケート報告

参加者:30名 看護師:29名 助産師:1名
アンケート回収 30名(回収率:100%)

1. 情報交換会の内容について

1) 講演①「小児に対するフィジカルアセスメント」について参考になりましたか？

そう思う	26名
どちらかというと思う	4名

2) 講演②「流行性ウイルス疾患感染防止対策」は参考になりましたか？

そう思う	27名
どちらかというと思う	3名

3) この会に参加して、貴施設での今後の活動において役に立つと思いますか？

そう思う	22名
どちらかというと思う	8名

2. 講演会で聞きたいテーマは何ですか？(複数回答)

最新の感染情報	19
感染対策	15
教育・啓発	8
サーベイランス	3
ICTの活動の実際	1

今回、小児有床施設の看護師を対象に情報交換会を企画しましたが、今後は、小児を対象とする診療所の看護師、幼稚園教諭・保育士、保健師に対しての情報交換会を企画していきたいと考えております。

～お知らせ～

- ★TRICK ホームページ <http://square.umin.ac.jp/trick/index.html>
- ★入会申込書、出張講義の依頼書、TRICK ニュースのバックナンバーがダウンロードできます。
- ★入会希望の方は、TRICK ホームページより入会申込書をダウンロードして、必須事項記載の上、入会申込書内の書類提出先へ郵送・FAXまたはメールにて送付して下さい。
- ★出張講義も受け付けています。施設内の院内感染対策研修会などにお役立ていただければ幸いです。e-mailによる申し込みか、出張講義依頼書を事務局にお送りください。事務局 e-mail アドレス trick-office@umin.ac.jp

第5回とちぎ感染担当者情報交換会報告 (2013/06/22)

社会福祉施設職員対象の感染対策情報交換会を実施して

感染管理認定看護師 野澤 寿美子

社会福祉施設での感染対策の現状把握、適切な感染対策の伝達をすること、また多施設間の情報交換を目的に、栃木地域にある老人保健施設 213 施設を対象に 2013 年 TRICK「感染対策情報交換会」を実施しました。21 施設、96 名(医師、施設長、副施設長、薬剤師、看護師等、管理栄養士、調理師、ケアマネージャー、介護士等)の多職種の参加を頂きました。

はじめに、代表世話人である森澤雄司先生による基調講演「介護福祉施設における感染防止対策」を頂き、続いて感染管理認定看護師より、「こんな感染対策していませんか？」というタイトルで手洗い・環境清掃・ネブライザーや加湿器の管理等について実際の写真を交え解説いたしました。そして医師より、空間への次亜塩素酸ソーダ水噴霧の弊害について情報提供を行いました。

その後、TRICK メンバーが各グループにファシリテーターとして 1~2 名入り、職種ごと 12G に分かれてグループワークを行いました。グループワークでは、各施設で行っている感染対策について以下のような疑問等が出され、白熱した情報交換が出来ました。



- ・消毒薬の噴霧について
- ・次亜塩素酸ソーダ水を消毒薬の代用している
- ・24 時間の加湿実施の有効性について
- ・固形石鹼、タオルの共用について
- ・教育の方法など

情報交換会を実施したことで、以下のような意見を参加者から頂きました。

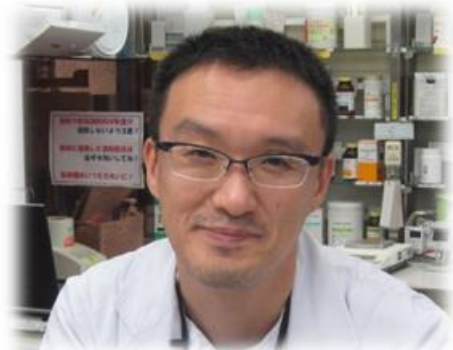
- ・疑問に思っていたことを解決する参考になった。
- ・現在の感染対策で見直さなくてはならないところの一部が見えた。
- ・手洗いはほとんどの感染を防げる。
- ・アルコール消毒が大切など参考になった。

今後も TRICK では、情報交換会等を通して正しい情報を提供できること、顔と名前を知ることによって横のつながりができることなど、地域でのレベルアップを図っていきたいと思います。



TRICK メンバーから一言

新小山市民病院
薬剤師 眞原 達男



TRICK のみなさん、こんにちは。新小山市民病院 薬剤師の眞原と申します。この度、「TRICK ニュース」を担当させていただき事となりました。平成24年に入会し、まだ3年目と参加年数はまだまだ短いのですが、皆様の活動をうかがい、その度に勉強になると感じています。当院でも皆様と同じく、TRICK のチェックリストを用いて、院内ラウンドを行っており、さらにTRICKの方々を始めとする相互ラウンドにより、病院が見違える様に綺麗になりました。また、あれだけ毎月のように検出されたCDIが、ここ

数年は、ほとんど見られなくなった事は、驚きの一言です。メールでの質問のやり取りでは、返信がすぐに入ることにもまず驚き、それぞれの現場での対応や工夫、考えなど当院でも参考となる事が多く、改めてTRICKの力に感心しているところです。

さて、「TRICK ニュース」ですが、皆様のご協力により、ようやく第8号を発行することができました。今回、原稿依頼に快く協力していただいた方々には、お礼を申し上げます。今後も定期的に発行できるよう努力するつもりですが、まだまだ分からない事だらけですので、皆様のご指導、ご協力(原稿依頼の折は、ご協力お願いいたします)をこれからもよろしくお願いいたします。

TRICK メンバーから一言

新小山市民病院
感染管理認定看護師 渡辺 明美



平成26年度発行第8号より、TRICK ニュース担当が変わりました。地方独立行政法人 新小山市民病院 感染管理認定看護師の渡辺です。薬剤師の眞原さんとタッグを組み、ニュース担当となりましたのでよろしくお願いいたします。前任者の小金井中央病院の庭田昇さん(薬剤師)と西方病院の野中正美さん(看護師)が築かれたベースを維持しながら、今後もTRICKメンバーによる各担当者からの活動内容の報告や研修会・講演会のお知らせなど様々な感染管理に関わる情報を提供できるよう発信していきたいと思っております。

さて、2008年12月に創刊されてから6年が経過し、2014年1月時点でのTRICK入会者は、医師14名、薬剤師20名、看護師52名、臨床検査技師12名、放射線技師1名、栄養士1名、事務職3名

合計103名 参加施設は42施設となっています。診療報酬改定後、感染防止加算1や加算2の関係上、相互ラウンドを実施する機会が減ってしまいましたが、自施設の感染対策について変えてみたいと考えているご施設は、是非お声を掛けて下さい。Changeするのは何時? 今でしょ!! TRICKを有効活用してみませんか? また、感染に関するご相談や出張講義なども承っております。様々なご要望にお応えできるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

最後に、垣根を越えてお互いに連携し合いながら、安全で医療の質を高めることのできる感染対策を目指し、様々な活動を提供していきたいと思っています。その内容をリアルにお伝えできるよう文字と言う媒体を通じて、皆様に熱く伝えたいと思います。それがニュース担当となった私のミッションかと思っております。私から皆さんへのお願いとして、ご意見・ご感想をドンドンお寄せください。お待ちしております。



第1回 実技講習会報告 (2013/09/21)

内容充実の実技講習会が熱い！

医療法人山育会 日新病院
ICD 吉村 章

《新しいイベントを企画》

TRICK が発足した当初は、相互ラウンドとチェックリストの統一が主な活動でした。しかし、H24 年の診療報酬改定により感染防止対策加算を算定するための相互ラウンドが始まったため、TRICK の活動を他の方向へシフトさせていく必要性を感じて、実技講習会を開催することを思いつきました。以前、栃木県病院薬剤師会が開催していた感染対策の実技講習会でお手伝いをさせていただいたことがあるので、そのパクリ企画をやろうと薬剤師会で開催経験のある白澤病院の星さんと上都賀総合病院の野澤さんに相談したのがそもそもの始まりでした。

《どんな実技講習会にするか》

第1回目なので、とりあえずやってみよう、赤字にならなければいいという感じでスタートしました。実技の内容は5つ。

PPE(個人防護具)の着脱、尿道留置カテーテルの挿入、吐物処理、N95 マスクのフィットテスト、ボードゲームとし、細かい内容についてはそれぞれの担当者にお任せしました。そして、協賛メーカーとして東京サラヤ株式会社、株式会社モレーンコーポレーション、株式会社メディコンの3社から実技用のモデルや測定機器、PPEなどを無償で提供していただけることになりました。受講者の定員は60人で、1グループ12人までであれば参加者全員がしっかり実技できると考えました。



《参加者の募集を開始したが》

すごく人が集まり過ぎたらどうしようと心配していたところ、予想とは反対に参加希望者が集まりませんでした。ニーズは多いはずなのになぜ。協賛メーカーや卸の皆さんにご協力いただき、最終的にはどうにか40人集まりました。子供の運動会で来られない人も結構いたようです。結果論ですが、手探り状態の我々にとっては、各グループが少人数で良かったのかもしれない。

《第1回実技講習会を開催》

H25年9月21日の土曜日、とちぎ健康の森の多目的ホールで開催しました。12時から会場の設営、12時半に受付、13時には講習会を開始しました。会場設営の時間が少なく忙しかったのですが、どうにか定刻に始めることが出来ました。簡単なオリエンテーションと担当者の自己紹介に続き、早速実技がスタート。どこのブースも活気があり、TRICKのメンバー、メーカーの方々、参加者、みんな真剣に楽しくやっていました。各実技の40分間があっという間に過ぎた感じでした。

PPE着脱の実技では、お尻に見立てた風船に疑似排泄物を付けて、オムツ交換を行いました。この疑似排泄物がものすごく良い出来で、なんと腐らせたバナナだったのです。まさに本物の風合いです。吐物処理では、吐物に見立てたものがどの程度散っているのか、ブラックライトを使って確かめました。実技場所が窓の近くで、照明を消してもある程度部屋が明るいため、きちんと見えるかどうか心配でしたが大丈夫でした。

N95マスクのフィットテストは、定量評価できる器械を使いました。普通の病院では定性テストをするので、念のため準備していただいた定性テストのキットも大活躍。

ゲームの「Save!」はモレーンコーポレーションが開発した非売品の感染対策のボードゲームで、止まった

マスクで感染対策の問題を解き、正解したらそのマスクを獲れるというもの。これがなかなか難しく、予め TRICK メンバーでゲームしたところ、感染管理認定ナースであっても結構間違えたので、比較的正確しやすい問題から解くように設定しました。かなり盛り上がりました。

尿道留置カテーテルの挿入手技では、必要物品がすべて一包化されているキットを参加者全員分提供していただきました。



《反省を次に生かす》

参加者から受けた感触やアンケート結果はとてもよかったのですが、今回はとりあえずやってみたという側面もあるため、改善点についてはしっかり検証しました。その結果、次回は 6 月下旬の学校の運動会が終わった頃開催し、対象者を感染対策担当者ではなく経験の浅い病院看護師とすることにしました。またアンケートの自由記載欄で希望が多かった、気管吸引手技も次回から実技に加えることにしました。実技中に多く質問が寄せられたのが、エプロンの脱ぎ方でした。基本的なことが守られていれば色々な脱ぎ方があってもよいですが、指導役の TRICK スタッフが各々違う説明をしては参加者が混乱するため、細かい手順の取り決めをする必要があると思われました。

更に内容充実し、進化する
実技講習会から眼が離せない状況と
なってきました。
是非 皆さん
Let, Try してみませんか？
様々な施設から参加されています。
実技講習会のみならず、
貴重な情報交換もできますよ！！
施設間の垣根を越え感染対策について
熱く語ろう！！



～TRICK 入会施設紹介～

社会福祉恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院

感染管理認定看護師 小島 貴子



当院は、栃木県救命救急センターを併設している、急性期を中心とした病床数 644 床の地域中核病院です。病院南側にはビルが立ち並び、北側は見晴らしの良い田園と日光連山を見ることが出来ます。近隣には、宇都宮市保健所、夜間休日救急診療所、複数の個人病院があり、さながら医療 Town の様な立地となっています。

当院の感染防止対策についてですが、感染防止対策加算 I を取得し、院内サーベイランスや地域連携に力をいれて活動しています。感染対策チームメンバーは、医師(ICD)と看護師(ICN)、薬剤師(BCPIC)と検査技師(ICMT)、管理栄養士と放射線技師、事務員で構成しています。感染防止対策加算 I に準じて、施設相互ラウンドや、加算 II の施設との共同カンファレンス、院内週 1 回のチームラウンドなどを実施しています。院内ラウンドでは、環境チェックや職員の手洗い・PPE 着脱などを監視・指導をしています。ラウンドの途中ですれ違ったスタッフから、「自分の部署にも来てチェックしてほしい。」と言われる事も多くなり、チーム活動が感染対策の確かなリソースとして認知されている事を実感しています。今年から ICN2 名を専従看護師とし、ICN によるラウンドを強化しています。その結果、相談件数が増加し、必要な時に迅速な対応が出来るようになっていきます。

院内だけでなく併設されている乳児院には、ラウンドや感染対策についての相談で、何度か関わっています。昨年度、栃木県児童養護施設等連絡協議会の看護師・保育士・栄養士・調理師・児童指導員の計 34 名の方に「感染症の予防と発生時の対応」と題してお話をさせていただきました。乳児施設職員に感染防止対策で困難と感じている事を聞くなど、実際の園児の生活環境を見て、入所児童にとっては日常生活の場であるにもかかわらず、感染のリスクが高いと実感しました。終了後のアンケートに「継続させるためにも今後もこういう機会が欲しい」という意見があり、感染対策の知識や、技術の習得の必要性を感じました。そのためにも、もっともっと自分達を活用してもらい、院内外問わず、感染防止対策を必要としている施設にも、目を向けていくことはとても重要だと感じました。

ニュース担当者から

様々なご施設がTRICKに入会されています。各施設の感染対策組織や活動内容をテーマに情報提供をしていきたいと思っております。次はあなたのご施設かもしれませんよ。お声を掛けますのでよろしくをお願いします。

TRICK ニュース No.8 H26.10.23 発行

発行者：栃木地域感染制御コンソーティアム (TRICK)

代表者：森澤雄司

編集員：眞原達男 渡辺明美 編集協力：野澤 彰

連絡先：自治医科大学附属病院 感染制御部

329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1 FAX：0285-44-6535

E-mail: trick-office@umin.ac.jp

